

ガイド講座始まる



ジオガイド講座_屏風ヶ浦

銚子ジオパーク推進室 岩本 直哉
今年度も、ジオガイドを目指す人のための「銚子ジオパークガイド講座」が始まりました。昨年同様、普通救命講習を含めた6回の連続講座になります。

銚子ジオパークガイド講座は、ジオサイトである「屏風ヶ浦」「犬岩」

岩・千騎ヶ岩「愛石山」「黒崖」「夫婦ヶ鼻」「粟島台遺跡」「余山貝塚」「犬吠埼」において、現地を見ながら、ガイドのノウハウ、案内の要点などを学ぶ講座です。初回は「屏風ヶ浦」「犬岩・千騎ヶ岩」で9月10日に開催され、29名の方が参加されました。そのうち、認定ガイドでない方は13名でした。今年度は、ジオガイドの皆さんが今年春に作成した、ジオガイドの統一テキストを用意しています。このテキストは最低限のガイド内容の統一をはかるものです。テキストの文をそのままガイドしても、観光客にとっても面白くないかもしれません。自分自身が内容をよく理解し、自分の言葉で語り、さらには話に肉付けをして、銚子の魅力を面白く紹介できるガイドを目指して頂けると幸いです。

今年度のガイド講座はまだまだ始まったばかりです。ガイドを目指していません。銚子ジオパークに興味のある方の参加も大歓迎です。次回は10月14日、場所は「愛石山」「黒生」「夫婦ヶ鼻」です。多くの方の参加をお待ちしております。

千葉県で55人の死者

忘れられつつある災害

防災ボランティア(銚子地区) 宮内 秀
姪のよし子：こんにちは、グータラ叔父さまお元気？

グータラ叔父：可愛い姪のよし子ちゃん、いらっしやい。ご覧のとおり元気にしてるよ。おや？随分としっかりとして、動きやすそうないでた。ちだね、ポランティオアセンダー立ち上げ訓練の帰りなんです。叔父：えらいな。お疲れ様。姪：地震や津波も怖いですが、今年7月の九州北部

豪雨のような大雨も恐ろしいわね。叔父：そうだね。大規模な土石流と多量の流木の映像は衝撃的だった。姪：千葉県は土砂災害がないから良わね。叔父：おっ、とっとなんか、よし子ちゃんはまだ小さかった頃か。姪：おやっ？なんですの、その遠くを見るような眼差しは？叔父：もう半世紀ほど前のことなんだが、9711(昭和46)年9月に千葉県でも大きな土砂災害があった。崖崩れなどによる家屋の倒壊など55人の方が犠牲となった。姪：えっ、そんな大災害があったの？死者55人は九州北部豪雨よりも多いんじゃないですか。

叔父：そうなんだよ。特自立つたのは、佐原から小見川、銚子にかけての北総台地の北縁、佐原から小見川、銚子にかけての急斜面が崩れたんだ。姪：そんな大災害がどうして起こったの？叔父：天気図をご覧よ、日本の南岸に秋雨前線が停滞しているだろう。姪：うんうん。長大な前線があった。九州のあたりには低気圧もあるわね。叔父：そこへ台風25号が伊豆半島の南海上から北上前線の活動が一層活発化して大雨と化した。特に台風が8日の午前3時には銚子の東40km付近を通過するなど、千葉県の東岸に沿って北上したので、7日の夜から8日の早朝にかけて、大雨と暴風になったんだ。姪：そうだったんだ。46

年も経ってしまふと忘れてしまう災害だわね。叔父：でも近年、地球温暖化に起因するのであるか、記録的な大雨などが、あちらこちらで発生するようになってきている。姪：そう言えば昨年2月、NHK解説委員の山崎登さんが銚子へ来られた際に「昨今、異常気象が異常ではなくなりつつある」と、お話されていたわね。叔父：そうなんだよ。今や「災害は忘れる暇なくやってくる」状況でもある。しかし市民一人ひとりにとつては災害に遭遇することが稀なことであり、やはり「災害は忘れたころにやってくる」もの。だから「想定外の災害」とならないように、災害の歴史を学ぶことが肝要だね。姪：地球温暖化の防止にも心がけねば。

(終)